

# 事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	文化会館	係	事務事業No.	121132
事務事業名	市民舞台芸術創作事業				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	2 項 1 目 13
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					
施策項目	芸術文化の振興					
前期計画掲載頁	45	頁	個別計画	第7期社会教育計画	35	頁
事業期間	平成 26 年	～	平成 29 年	根拠法令・要綱等		

**事業の目的**  
 芸術文化を担う新たな人材の発掘を目的として、パフォーマンス・空間美術・ファッション・企画プロデュースの4コースの講座を冬期芸術大学とし開設。29年度はパフォコースと空間美術コースとの連携、企画プロコースの単独実施、ファッションコースの廃止など事業内容を大幅に見直し実施

**事業内容**  
 受講生 パフォ3名、空間8名、企画プロ14名  
 講座の開設状況 パフォ12回 空間5回 合同で舞台発表を目指す。  
 企画プロ6回 プロデュースを学ぶ  
 成果発表会 パフォ・空間合同 12月10日 文化会館大ホール 観客80名

		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		総事業費(決算額)	2,977,000 円	4,308,236 円	1,329,611 円
事業費 財源内訳	国庫支出金	円	2,620,000 円	円	
	県支出金	606,000 円	円	円	
	起債	円	円	円	
	その他財源	円	円	円	
	一般財源	2,371,000 円	1,688,236 円	1,329,611 円	

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)
活動指標	指標名	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 受講者数	34	22	30	23	130.4%	10
	② WS開催回数	40	35	25	35	71.4%	10
	③ WSコース数	4	4	3	4	75.0%	1

1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 成果発表会観客	人	200	133	80	100	80.0%	
② 成果発表会観客	回	2	2	1	1	100.0%	
③							
2. 数値で表せない効果 (指標) 企画プロデュースコースでは、受講生の企画による舞台発表の場を目指していく。							

### 【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	低い	改善の余地あり			
点数	2	2	2	3	1	2				

### 【具体的な課題と改善】

#### 事業に対する課題について(目的に対する現状など)

平成24年度からの地域文化コーディネーター派遣事業から派生し、地域芸術文化を担う新たな人材発掘の場として、ワークショップの開催を通じて舞台創作の技術や課程を学ぶ場として特長ある取り組みを行ってきた。一方で、市民への浸透が十分でなく、理解が進んでいる状況ではない。舞台創作の人材育成は重要な課題であるので、事業のあり方を見直し今後も事業展開していきたい。

#### 改善の方法等(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容)

ファッションコースを廃止し、企画プロ、空間美術、パフォーマンスの3コースで実施。空間美術及びパフォコースは合同で発表会を実施した。企画プロコースは独立した講座として6回のWSを開催し、独自にプロデューサーの養成講座として実施した。30年度は企画プロデュースコースの単独実施として受講生の企画による数年後の舞台制作を目指す。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	女性未来館 係	事務事業No.	15124
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進				
前期計画掲載頁	42	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の目的	新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。								
事業内容	女性のための各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に活動できる管理体制を図る。託児ボランティア活動の人材育成講座、講演会の実施。								
事業費	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	総事業費（決算額）		2,000,383 円	4,075,649 円	4,084,181 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	円	円	円				
一般財源		2,000,383 円	4,075,649 円	4,084,181 円					
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	女性未来館ピュア講座	回	17	18	16	18	88.9%	18
	②	サークル育成事業	件	8	8	8	8	100.0%	8
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	ピュア講座（公民館共催含）参加者数	延人数	939	956	960	950	101.1%	950
	②	公民館・ピュア利用者数	団体	68	74	79	78	101.3%	77
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）子育て世代の講座参加を促すため託児を実施するとともに、教養の幅を広げ、シニア世代の健康増進、生きがいの場の提供。									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	16 / 18
	点数	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である					
		3	3	2	2	3	3					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
健康講座への関心の高さから引き続き健康講座を実施、また運動講座の種類（ヨガ、バランスボール、体操等）を増やした講座に取り組みたい。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
講座を通して自身で出来るような講座を増やし、サークルに繋げていきたい。また、シニアから若い年齢層の幅広い講座、女性が輝ける講座に取り組みたい。 今後ウエーピング、ボール、踏み台等の運動具の運動用具の充実を図り、講座の幅を広げたい。	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館 係	事務事業No.	110128
事務事業名	山村留学支援事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 1 目 2
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				
施策項目	地域で育む教育の推進				
前期計画掲載頁	39 頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン		頁
事業期間	平成 年 ~	平成 年	根拠法令・要綱等		

**事業の目的**  
山村留學生を積極的に受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留學生双方の健全育成を助長する。また、複式学級の回避の他、各方面の教育効果の高揚を図るとともに、情報や人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。

**事業内容**  
山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	総事業費(決算額)	18,303,360 円	18,305,300 円	20,155,560 円	
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	12,600,000 円	12,600,000 円	14,000,000 円
		その他財源	円	円	円
		一般財源	5,703,360 円	5,705,300 円	6,155,560 円

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)
活動指標	指標名	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 受入農家数	戸 9	9	10	11	90.9%	11
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 山村留学児童生徒数	人	31	31	32	32	100.0%	32
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)山村留學生と地元の児童生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。また、毎年山留OBとの交流会を実施しており、棚田でのコメづくりを通じて都市との交流を図ると共に、農地の保全に寄与している。							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について(目的に対する現状など)

山村留學生を受け入れている農家の高齢化により継続が困難な世帯がはじめており、新規の受入農家開拓が急務である。しかし、地区内に居住する農家も高齢化が進んでおり、受入に理解が得られない状況にある。

改善の方法等(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容)

新規の受入農家を開拓するため、地区説明会を随時開催する。また、説明会には現役受入農家の方にも出席いただき、疑問点や不安な点が少しでも解消できる雰囲気づくりに努める。  
受け入れを行う世帯は農家(専業・兼業)が望ましいが、受入農家不足の状況を考慮し、非農家世帯の受入や地区外の農家参入が可能か(公財)育てる会と検討を進める。

事務事業評価票

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110414				
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供								
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築								
前期計画掲載頁	112	頁	個別計画	第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供を図るため、エネルギーを中心とした理論・技術等に関し多面的な考察により、様々な事業展開をしているエネルギー博物館の運営に対し補助金を交付								
事業内容	エネルギー博物館の運営費の助成として、経常経費分と修繕工事等臨時的費用分の合計を補助								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		13,310,000 円		12,460,000 円		12,543,000 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
一般財源		13,310,000 円		12,460,000 円		12,543,000 円			
活動指標	指標名		単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	①	会館日数	日	200	205	190	200	95.0%	200
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	①	入館者数	人	8,950	8,494	10,505	10,000	105.1%	10,000
	②	入館料	円	2,472,060	2,254,120	2,606,470	2,700,000	96.5%	2,700,000
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり			
	点数	2	2	2	3	2	2	やり方改善	13	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>社会教育施設としての位置付けとしているが、運営母体が公益財団法人であり事業費の約8割弱を補助金でまかなう状況である。今後の運営、また、施設そのもののあり方について根本的に検討する時期に来ている。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>公益財団法人による運営であるため理事会で判断することである。しかしながら、理事長は市長、常務理事は教育長でもあり、また、補助金を交付している市として積極的な関与を行っていく。</p>	

# 事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進				
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン 頁		
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

**事業の目的**  
一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生にするために自発的意思に基づくことを基本として、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習等の概念である生涯学習によるまちづくりの推進を図る。

**事業内容**  
多様な生涯学習事業を政策的に推進するため生涯学習推進本部委員会の開催。また、生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供として「がったつうしん」を年4回の発行し、リーダーバンク制度や職員出張講座を開催。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	総事業費（決算額）	389,832 円	444,174 円	807,326 円	
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
		一般財源	389,832 円	444,174 円	807,326 円

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）		
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）		
活動指標	①	がったつうしん	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②								
	③								
	④								

1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）
成果指標	①						
	②						
	③						
	④						
2. 数値で表せない効果 （指標） 郷土愛を育むため、郷土学習冊子「きのう・きょう・あした」を作成し、市内小学4年生へ配布							

**【事業の評価と今後の方向性】**

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	2	2	2	3	2	3	18			

**【具体的な課題と改善】**

**事業に対する課題について（目的に対する現状など）**

学べる場の提供としてリーダーバンク制度や職員出張講座があるが、一層の利用促進のためPRが必要

**改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）**

広報・HP等の活用を図る

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	人権教育 係	事務事業No.	110417				
事務事業名	人権教育推進事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第5 市民の参画と協働でつくるまち			款	10	項	4	目	1
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現								
施策項目	人権教育・啓発の推進								
前期計画登載頁	95	頁	個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針				頁	
事業期間	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等				

1 人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。

事業内容 人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
総事業費（決算額）		4,150,364 円	3,954,363 円	4,103,404 円
事業費 財源内訳	国庫支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	起債	円	円	円
	その他財源	円	円	円
	一般財源	4,150,364 円	3,954,363 円	4,103,404 円

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	人権を考える市民の集い	回数 6	6	6	6	100.0%	6
②	企業人権教育推進協議会	回数 1	1	1	1	100.0%	1
③	人権週間ポスター展示	回数 1	1	1	1	100.0%	1

1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	人権を考える市民の集い	人 1,756	1,831	1,777	1,710	103.9%	1,750
②	企業人権教育研修会参加	人 94	87	84	70	120.0%	80
③	人権教育指定校公開授業	人 103	95	94	100	94.0%	100
2. 数値で表せない効果							
(指標 ) 人権教育の推進により、市民ひとりひとりが、他の人を思いやる気持ちや互いを尊重しあう心を醸成し、地域のつながりや協力関係を円滑に築く要因となることで、協働のまちづくりの推進に寄与している。							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である		
点数	3	2	3	2	2	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

同和問題をはじめ、女性、子ども、障がい者、外国人などの問題のほか、近年はインターネット等を悪用した人権侵害や、子供・高齢者に対する虐待など新たな人権侵害問題が顕在化してきている。真に人権が尊重される地域づくりを目指して人権感覚を磨き、人権問題を自身の問題と受け止め自らの行動に結びつけていける学習活動を継続していく必要がある。

改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）

学校人権教育研究委員会については、各校での年間通した実践を基盤とし、市内の小中学校以外に、高校、保育園、幼稚園からも参加協力が得られている。未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができていく。公開授業については、学校教育への理解を含め、一般参加者をさらに募っていく。様々な機会を使い啓発事業を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である。併せて、企業における職場内研修にも期待したい。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110421				
事務事業名	補導・環境浄化活動事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	2
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成								
施策項目	地域で育む教育の推進								
前期計画掲載頁	38	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン				15	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

**事業の目的**  
 「青少年は地域社会からはぐくむ」という観点に立ち、地域で育む教育を推進するため、青少年センターの補導委員とともに補導活動をとおり青少年の健全育成を図る。

**事業内容**  
 青少年センターが委嘱した補導委員とともに、青少年が非行化することのないように街頭活動や、青少年を取りまく有害環境の浄化活動を行うとともに啓発活動を実施。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,715,140 円	2,848,270 円	2,843,656 円	
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
		一般財源	2,715,140 円	2,848,270 円	2,843,656 円

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
活動指標	指標名	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 街頭補導活動	55	60	56	56	100.0%	56
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①							
②							
③							
2. 数値で表せない効果 （指標） 補導員の街頭補導活動により、青少年の有害な環境改善、非行防止に効果が出ている							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	普通			
点数	3	3	3	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

補導員の選出について、高齢化や自治会人口減少等により困難な地域が出てきている。また、選出されても1年で交代になることが多く、補導活動が定着しがたい。補導員・教職員・PTAによる合同補導においても意思統一が難しい状況である。地域が一体となり、子どもたちを取り巻く諸問題に対して、いかにサポートしていき意識や体制を作り上げることが課題

改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）

選出方法や活動内容等の見直しについて検討する必要があるが、将来を担う青少年を地域で育成することの大切さを理解していただくとともに、地域全体で青少年の健全育成に取り組む啓発活動、体制づくりを粘り強く続けていく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110422				
事務事業名	青少年育成事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	2
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成								
施策項目	地域で育む教育の推進								
前期計画掲載頁	38	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン				10	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	地域で育む教育の推進を図るため、子ども会育成会や青少年育成市民大会をとおり、地域全体による青少年の育成を図る。							
事業内容	子ども会育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行 毎年8月に市民全体で健全育成に取り組む「青少年育成市民大会」を開催し青少年健全育成に係る分科会を実施							
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	総事業費（決算額）		2,850,734 円		3,058,672 円		2,617,828 円	
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円	
		県支出金	円		円		円	
		起債	円		円		円	
		その他財源	円		円		円	
一般財源		2,850,734 円		3,058,672 円		2,617,828 円		
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	青少年育成大会	回	1	1	1	100.0%	1
	②							
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	子ども体験学習号利用数	件	14	14			
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	継続				16 / 18
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通					
点数	3	3	3	2	2	3					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>少子化により各地区の子ども会等の活動が低調になりつつある。そこをいかにサポートしていき、地域で子どもたちを支える意識や体制を作り上げることが課題</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>青少年市民大会等による啓発活動や分科会のグループ討議の中では必ず参加者には発言の機会を設けており、様々な問題について共有するなど、地域全体で青少年の健全育成に取り組む啓発活動、体制づくりを粘り強く続けていく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	大町公民館 係	事務事業No.	110433		
事務事業名	大町公民館活動費			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4 目 3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						
施策項目	社会教育の充実と活性化						
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン			頁
事業期間	平成	年	～	平成	29	年	根拠法令・要綱等 社会教育法

事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮する								
事業内容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、市文化祭の開催、囲碁将棋の普及、講座も開設								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		2,085,262 円		2,312,057 円		2,657,441 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
一般財源		2,085,262 円		2,312,057 円		2,657,441 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	公民館講座開催	回	70	72	73	72	101.4%	80
	②	体育事業	回	4	4	3	4	75.0%	3
	③	文化事業	回	3	3	4	3	133.3%	3
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	公民館講座開催	人	1,155	1,057	1,451	1,200	120.9%	1,500
	②	体育事業	人	914	924	777	900	86.3%	900
	③	文化事業	人	10,371	12,369	12,175	12,000	101.5%	12,000
2. 数値で表せない効果		(指標③)平成29年は大町の文化祭が開催されて70回目となる事から、記念イベントとして「三四六トーク&ライブ」を文化祭開催期間中に行った。420人の来場があり、普段文化祭に訪れない市民の集客もできた事から、一定の効果があった。							

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	16 / 18
	点数	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>体育事業（運動会）及び文化事業（文化祭）共に高齢化の影響で参加（出展）者が徐々に少なくなっている。また地域コミュニティが希薄となっている現在において、地区公民館として、地域の市民の連帯感を醸成するには、どのような事業を行っていけばよいか検討していく必要がある。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>あらゆる生涯学習の機会や場の提供をするため、各種講座を増設する。開設に当たっては、市民ニーズや地域の特性も踏まえながら、魅力ある講座の提供を展開していく。</p> <p>大町地区市民運動会については、各地区の分館長及び体育部長にアンケートを取り、どのようにすれば参加できるのか、また参加しやすくなるのかを調査し、競技種目の見直し・合同分館での参加を可・多くの競技において年齢制限の撤廃・参加分館への賞品の授与を行う見直しを行い、今年度実施した。しかし、参加分館は平成29年度より更に1分館減り10分館のみの参加となった。見直し内容を検証し、多くの分館に参加いただくよう検討していく。</p> <p>文化祭については、年に一度の市民の生涯学習の発表の場としての役割は大きい。高齢化により準備ができないために出展を見合わせた団体もいると聞いた事から、できる限り支援を行い、文化祭の活性化を図る。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館 係	事務事業No.	110435
事務事業名	平公民館活動費			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進				
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン		頁
事業期間	平成 年 ~ 平成 年	根拠法令・要綱等 社会教育法			

事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。								
事業内容	地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。								
事業費	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年度			
	総事業費（決算額）		1,065,352 円	913,563 円	1,083,605 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	円	円	円				
一般財源		1,065,352 円	913,563 円	1,083,605 円					
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	公民館体育事業	回	6	6	6	6	100.0%	6
	②	公民館講座	コース	7	6	8	8	100.0%	9
③	自主学習活動支援	件	3	3	3	3	100.0%	5	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	537	839	834	900	92.7%	900
	②	公民館講座受講者	人	173	155	230	230	100.0%	230
	③	自主学習活動サークル	団体	68	74	79	80	98.8%	80
	2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	17 / 18
	点数	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>①体育事業（運動会・球技大会）及び文化事業（文化祭）共に高齢化の影響や、自治会離れで参加者が徐々に少なくなっている。</p> <p>②各種講座修了後の、受講者によるサークル活動の立ち上げに繋がっていない。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>①公民館事業では、地元自治会の協力が必要不可欠ですが、高齢化や自治会離れがあり、分館ごとの事業が難しくなっているため、分館合同の事業を行った。今後も同様な対応をしていく予定。</p> <p>②講座の開設に当たっては、市民のニーズや地域の特性も踏まえながら、魅力ある講座の提供を企画していく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	生涯学習課	常盤公民館	事務事業No.	110437		
事務事業名	常盤公民館活動費			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						
施策項目	社会教育の充実と活性化						
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン			頁
事業期間	平成	29	年	～	平成	33	年
	根拠法令・要綱等 社会教育法						

事業の目的	地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、住民のニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図る。また、補助事業等を通じて各分館における体育事業、文化事業及び講座開催の推進を図る。								
事業内容	①講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、わら細工講座ほか）、②体育事業（常盤地区球技大会、常盤地区運動会、卓球・ソフトバレー大会）、③文化事業（常盤囲碁・将棋・マージャン大会、サークル活動発表展示会）、④補助事業（分館事業補助金）								
事業費	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	総事業費（決算額）	992,644 円		926,205 円		922,658 円			
	財源内訳	国庫支出金	0 円		0 円		0 円		
		県支出金	0 円		0 円		0 円		
		起債	0 円		0 円		0 円		
		その他財源	0 円		0 円		0 円		
一般財源		992,644 円		926,205 円		922,658 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業	回	2	2	3	3	100.0%	3
	②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2
③	講座事業	回	49	33	39	45	86.7%	45	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業参加者	人	363	348	1,043	1,000	104.3%	1,000
	②	文化事業参加者	人	366	360	357	360	99.2%	360
	③	講座事業参加者	人	1,556	978	782	600	130.3%	800
	2. 数値で表せない効果	(指標)							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	2	3	2	3	継続	16	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	卓球大会及び囲碁将棋大会については、少子化、余暇の過ごし方や趣味の多様化等により近年は参加者が減少しているため、事業の見直しが必要となっている。毎年開催している講座はマンネリ化が進み、年々参加者が減少しているため魅力のある新しい講座の実施が必要となっているが、情報不足などにより実施できていない。親子教室は年度によって参加者の増減が大きく、平成28・29年度の講座事業参加者の減少の一因となっている。運動会には小学生から高校生までが参加する種目があるが、少子化が進んでいるとともに最近の小中高生は習い事や部活動等で忙しいため、各分館における参加者集めが難しくなっている。
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	卓球大会及び囲碁将棋大会については、代わりになる競技を検討する必要があるが、これらの大会を楽しみにしている人も少数ながらいるので、慎重に進めていく必要がある。講座については、30年度の実施内容はほぼ決まってしまったので、31年度に新しい講座を2種類程度開講したい。運動会については、30年度以降は毎年反省会を開催し、改善点を整理することとする。各種目の年齢構成や参加人数等を見直すことにより、事業を継続していけるように工夫をしたい。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110439				
事務事業名	社公民館活動費			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供								
施策項目	社会教育の充実と活性化								
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン				頁	
事業期間	平成	29	年	～	平成	33	年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

事業の目的	地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、住民のニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図る。また、補助事業等を通じて各分館における体育事業、文化事業及び講座開催の推進を図る。								
事業内容	①講座（親子教室「なかよし広場」、カフェランチ講座・花咲く書道講座ほか）、②体育事業（社地区球技大会、社地区運動会、元旦マラソン）、③文化事業（社地区文化祭）、④補助事業（分館事業補助金）								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		628,418 円		681,982 円		787,283 円		
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		円		円		
		起債	円		円		円		
		その他財源	円		円		円		
一般財源		628,418 円		681,982 円		787,283 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②	文化事業	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	講座事業	回	26	27	38	35	108.6%	38	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	610	630	606	650	93.2%	615
	②	文化事業参加者	人	231	273	241	300	80.3%	248
	③	講座事業参加者	延べ人数	843	629	833	750	111.1%	768
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	17 / 18
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>①講座等の学習的な取り組みとしては、社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報化社会に合わせた活動内容への取り組みと改善が必要と考える。受講後に受講者のサークル活動に繋がっていない講座が多かった。</p> <p>②体育事業の運動会や元旦マラソン大会は、少子高齢化に伴う人口減少、ライフスタイルの多様化により参加者は減少傾向にある。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>①公民館の利用促進を図る為、サークル活動化を推進する。受講者のニーズを的確にとらえるための情報収集を心掛ける。</p> <p>②球技大会は、単独では参加出来ない分館同士で合同チームとして参加を要請中。運動会や元旦マラソンなどの体育事業は、地域の枠を超えての参加者が定着してきており、毎年参加を楽しみにしている方々も増えている。更なる発展に向けて、イベント周知の広報活動を充実させていきたい。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104311
事務事業名	八坂公民館活動費				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 4 目 3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					
施策項目	社会教育の充実と活性化					
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン	10	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の目的	地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、自主グループや地域コミュニティ等の活動の育成と支援をおこなう。								
事業内容	八坂地区合同運動会やレクリエーションスポーツ大会等の体育事業、文化祭やかると・もちつき大会等の文化事業、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等の学級講座事業を実施した。また、子ども会育成会等の団体事業支援、八坂図書館図書貸し出し、サークル活動団体支援や分館活動事業への支援や補助金交付をおこなった。								
事業費	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	総事業費（決算額）		1,225,622 円	1,290,496 円	1,212,786 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	円	円	円				
一般財源		1,225,622 円	1,290,496 円	1,212,786 円					
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業	回	5	5	5	5	100.0%	5
	②	文化事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
	③	学級講座	回	31	28	27	28	96.4%	30
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業参加者	人	700	710	840	700	120.0%	800
	②	文化事業参加者	人	400	395	345	400	86.3%	370
	③	学級講座参加者	人	863	849	858	850	100.9%	850
	2. 数値で表せない効果		(指標 ) 公民館事業の実施により、住民の自治能力の向上や地域住民が交流する機会の創出により、地域の活性化に寄与している。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	16 / 18
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である					
点数	3	3	2	3	2	3						

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>少子高齢化と人口減により公民館事業に参加する人数を確保するのに苦慮している。また、ライフスタイルやニーズの多様化によりサークル活動に参加しない（できない）人が増えており、既存サークルの会員の高齢化等により存続できず、解散してしまう状況も見受けられる。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>集まりの良くない大会等を見直し、競技種目にニュースポーツ等を取り入れ、子どもから高齢者まで手軽に楽しめ、世代間・地域間交流が図られる内容を検討する。また、趣味や学習等のサークル活動を支援するために八坂地区全戸へ実施したアンケート結果を基に、応募種目が既存活動グループに当てはまる方には加入紹介を行うと共に、希望者の多い種目や共通性の高い種目を精査し、新規サークル立ち上げに向けての打合せ会議や活動支援を行い、自主的に企画運営していくサークルの立ち上げを推進する。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104313
事務事業名	美麻公民館活動費			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	社会教育の充実と活性化				
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン		頁
事業期間	平成 年 ~ 平成 年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	活動の拠点である公民館を活用し、各種講座や教室及び体育事業等を地域住民とともに企画運営することで、地域のつながりを深めながら、健康づくり、仲間づくりを目指す。								
事業内容	0歳から未就園児を対象とした親子教室は、幼児の食についての相談や育児指導、体のケアなどについて子どもだけでなく、親のケアについても実施。地区内外親子が触れ合える場となっている。高齢者を対象とした教室は、伝統文化の継承を目的に小学生と交流したり、軽スポーツや寄席などの教室を開催した。また、共催事業ではあるが、事業への参加が少ない男性のみを対象に教室を開催、新たな交流の場となっている。体育事業についても競技種目をより参加しやすいものに変更するなどして実施し、例年並みの参加者で開催できた。								
事業費	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	総事業費(決算額)	1,201,059 円		3,262,941 円		3,362,415 円			
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		円		円		
		起債	円		円		円		
		その他財源	円		円		円		
一般財源		1,201,059 円		3,262,941 円		3,362,415 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	4	3	3	3	100.0%	3
	②	文化事業	回	12	10	15	12	125.0%	13
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度(H29)	達成率	次年度(H30)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	人	560	550	625	600	104.2%	600
	②	文化事業	人	2,125	1,537	1,592	1,600	99.5%	1,500
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	継続				14 / 18
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通					
点数	3	2	2	3	2	2					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について(目的に対する現状など)	
<p>公民館親子教室については、参加者が減少傾向にあるが、美麻地区定住促進住宅入居者が参加するなど、新しい人との交流の場となっている。少ない人数ではあるが、参加者全員が一緒に遊べたり、話ができる良い状況にある。また、高齢者向けの教室等についても参加者が減少傾向にある。体操教室等は地区社協も実施していることから、同じ内容にならないよう工夫する必要がある。体育事業についても同様で、参加者減、役員の負担が多い等の課題がある。特に運動会については、開催の有無についてから検討し、学校と一緒に開催も検討する必要がある。</p>	
改善の方法等(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容)	
<p>親子教室は、0歳児と未就園児の2つの教室を開催しているが、参加者も減少していることから、今後一緒に開催できるか指導員の先生や対象になる参加者と検討する。高齢者学級についても、参加者からの意見を聴く機会を設け、参加者自らが学びたい内容の講座を開催することで多数の参加を促す。また、以前から検討課題であった地区運動会については検討委員会を立ち上げ、学校との合同開催も含めて検討を進めていく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	図書館 係	事務事業No.	110443				
事務事業名	図書資料購入事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	4
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供								
施策項目	社会教育の充実と活性化								
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン				頁	
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。								
事業内容	市民のニーズに適合した資料の選定及び購入 市民のリクエスト本の購入 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入 図書資料の収集、整理 資料の修理								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		8,237,621 円		8,153,524 円		8,218,617 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
		一般財源		8,237,621 円		8,153,524 円		8,218,617 円	
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①					—	—	—	
	②					—	—	—	
	③					—	—	—	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	図書購入 冊	3,943	3,768	4,882	4,000	122.1%	4,000	
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	14 / 18
	点数	高い	高い	普通	一部重複	普通	改善の余地あり					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>少子化や活字離れに伴い、中学生・高校生の貸し出し冊数が大幅に減少している。若者の言語能力の低下、勉学意欲の減退など、知的水準が落ちていると危惧されているが、0歳～6歳、40歳代、70歳以上以外の年代は全て減少傾向にある。子どもだけでなく大人にも「読書離れ」の傾向が認められる。また、立地の問題もあるが、昨今、図書館は複合施設として多様な役割を求められているが、当館のように単館として機能しているため、大幅な利用者増は望めない状況にある。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>図書館は社会教育機関の役割と地域の情報拠点の役割との2つの役割がある。その機能を一層充実させるためには、地域との接点を創り出していくこと、そのために、学校を含めた他の公共施設との連携を促進するとともに、資料を計画的かつ系統的に収集し、市民のニーズに応え、より魅力的な蔵書構築を図るため、蔵書計画を策定する。またヤングアダルトと言われる中高生向けの図書を積極的に収集し、その世代の興味、関心を引き出し、知的好奇心を引き出す資料収集に努める。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館 係	事務事業No.	110453				
事務事業名	文化会館公演事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	5
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実								
施策項目	芸術文化の振興								
前期計画掲載頁	45	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン				34	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	29	年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気軽に楽しく芸術文化に触れあうことができるよう文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。								
事業内容	ミュージカル、落語、クラシックコンサート、ポップスコンサート等の公演の開催。市民文化芸術活動の発表の場の提供								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		26,332,668 円		37,510,417 円		19,403,887 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		10,191,001 円		18,929,140 円		5,682,092 円	
一般財源		16,141,667 円		18,581,277 円		13,721,795 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	文化会館自主事業	回	8	11	12	10	120.0%	10
	②	文化会館利用数							
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	文化会館自主事業入場者数	人	5,416	7,791	5,933	6,000	98.9%	6,000
	②	文化会館利用回数	回	103	139	117	100	117.0%	110
	③	文化会館入場者数	人	26,872	29,708	28,224	30,000	94.1%	30,000
	2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	17 / 18
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
市民の文化活動の発表の場であると共に、日頃接することの少ない芸術性の高い舞台芸術や娯楽の場としての位置づけがある。市民の芸術文化活動は、人口減少や高齢化により停滞気味であり芸術文化協会の活動を支援しながら活性化を図ることが必要。優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する場としては、今後も優れた作品を比較的安価に提供できるよう心掛ける。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
優れた舞台芸術鑑賞機会の場を増やすために、通常の自主文化事業に加えて公演料を負担せずに実施できる共催事業を実施する。 市芸術文化協会への助成金を増額し、協会の組織強化を図る。	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化財	係	事務事業No.	110462			
事務事業名	遺跡発掘調査事業				会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10	項	4	目	6
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
施策項目	文化財の保護継承と活用									
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン					頁	
事業期間	平成	54	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 文化財保護法		

事業の目的	埋蔵文化財の保護・活用。記録保存。								
事業内容	学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		7,430,618 円		3,890,012 円		297,027 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		7,430,000 円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		2,600,000 円		円	
		一般財源		618 円		1,290,012 円		297,027 円	
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	発掘調査件数	件	2	1	2	1	200.0%	1
	②	試掘調査件数	件	4	4	6	4	150.0%	4
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	発掘調査面積	m <sup>2</sup>	900	165	183	25	732.0%	50
	②	埋蔵文化財有無の問い合わせ件数	件	42	57	63	60	105.0%	60
	③	調査遺跡内容							
2. 数値で表せない効果 (指標③) 調査遺跡の内容は遺跡によって時代・範囲等に違いがあり、その成果内容も違ってくる。									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	14 / 18
	点数	高い	普通	普通	一部重複	普通	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査、開発対象地の試掘調査に分けられ、年度により事業のばらつきがあり、年度により実施件数が違ってくる。										
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）										

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110465		
事務事業名	中村家住宅管理事業			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						
施策項目	文化財の保護継承と活用						
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン			頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例		

事業の目的	重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と歴史にふれあう場とする。							
事業内容	毎年4月から11月までの8ヶ月間重要文化財建造物を公開、維持・管理を行っている。							
事業費	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	総事業費（決算額）	3,771,003 円	1,798,783 円	2,127,141 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	95,000 円	207,150 円	220,150 円			
一般財源		3,676,003 円	1,591,633 円	1,906,991 円				
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 旧中村家住宅公開日数	日	160	180	180	180	100.0%	180
	②							
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 旧中村家住宅入館者数	名	447	748	804	900	89.3%	900
	②							
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	14 / 18
	点数	高い	普通	普通	一部重複	普通	適正である					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
平成18年合併時より重要文化財公開事業を引き継いでいるが、年々見学者数が減少しつつあったが、平成25年度には、入館者が増となったが、26年度には再び減少。27年は、保存修理事業と並行しての公開であったので入館者は半減。29年度は29年度よりもやや増加した。										
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）										
市街地から離れている場所に所在することから、なかなか見学者の増加は見込めないが、美麻地区と連携し継続して保護・活用に努める必要が考えられる。										

# 事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110463
事務事業名	文化財センター管理事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実				
施策項目	文化財の保護継承と活用				
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン	
事業期間	平成13年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、大田市文化財センター設置及び管理に関する条例

事業の目的	大田市における歴史、民俗その他の資料を保管・展示・調査研究をおこない文化財保護の推進を図る拠点とする。								
事業内容	歴史・民俗資料調査研究、収蔵、企画展の実施。資料（史料）の公開。								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		1,175,161 円		1,249,321 円		1,136,305 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		1,800 円	
		一般財源		1,175,161 円		1,249,321 円		1,134,505 円	
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	企画展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	資料公開・閲覧利用者数	名	54	48	41	50	82.0%	50
	②	企画展見学者数	名	37	56	33	50	66.0%	50
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

### 【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	普通	一部重複	普通	適正である			
	点数	3	2	2	2	2	3		継続	14 / 18

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
講座など文化財保護一般経費事業と重複する点が多く、資料の保存・保管とセンターの管理が主となる。
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化財	係	事務事業No.	110461
事務事業名	文化財保護一般経費				会計	一般会計	
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10	項 4 目 6
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						
施策項目	文化財の保護継承と活用						
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	市第7期社会教育計画・市第4次生涯学習推進プラン			頁
事業期間	昭和	61	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、大町市文化財保護条例、文化財保護補助金交付要綱

事業の目的	文化財保護の推進と地域活性化のための文化財の積極的な活用ができるよう、歴史や文化に触れ合う場を目指す。								
事業内容	文化財に関する講座・見学会の実施。 指定文化財、未指定文化財の調査研究。 指定文化財等の保存修理および文化財保護・活用に対する支援（保護事業助成）。								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		5,498,535 円		4,711,297 円		4,077,546 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
一般財源		5,498,535 円		4,711,297 円		4,077,546 円			
活動指標			平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	文化財めぐり・講座等開催数	回	8	8	7	10	70.0%	10
	②	文化財保護事業費助成件数	件	3	5	3	3	100.0%	6
③	指定・未指定文化財調査件数	件	4	4	4	4	100.0%	4	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	文化財めぐり・講座等参加人数	名	408	416	204	500	40.8%	500
	②	文化財保護事業助成金額	千円	1,597	2,016	397	1,683	23.6%	3,339
③	説明板等設置・修繕件数	件	2	1	2	2	100.0%	1	
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	17 / 18
	点数	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である					
		3	3	3	2	3	3					

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
文化財保護事業費の助成は、文化財所有者負担金が伴うことから、件数・金額はその年により増減が出てくる。所有者・団体の高齢化、人口減少、所有者の財政難等で、いかに負担金を確保してもらうかが、現在の課題である。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
国民・市民共有の財産と位置づけられる文化財を後世に継承していくため、保存・整備を推進・継続し、文化財所有者との連系を深めて、地域資源として活用していくことが必要である。	